



# ふれあい



● 2004 ● Spring ● Vol.4 ●



## 表紙によせて

寒い冬からポカポカした春になり、みつばちのように元気に飛び回って働いている臨床検査室のスタッフです。臨床検査室の主な業務といいますと、患者さまの体の一部である血液や尿・その他の体液・便などを検体として、その中の細胞の形態や微量成分、細菌の有無などを検査測定する検体検査と、患者さまの体からの生理的情報を直接測定解析する心電図・脳波検査などの生理機能検査に大きく分けられます。このような検査を行うことで、陰になり日向になり病気の診断や治療効果判定の手助けをしている部門が臨床検査室です。

これからも患者さまの健康な生活のよりどころとなるように努力していきますので病院ともどもよろしくお願いします。

臨床検査室 渡部 ゆかり

## 理念と基本方針

＜理 念＞ 私たちは医療の担い手としての責務を自覚し、研鑽を重ね「人と人とのふれあい」を大切にし、地域の住民の皆様に一層の信頼を得られる医療を提供し地域社会に貢献します。

- ＜基本方針＞
1. 患者様の立場を尊重し納得と同意に基づく医療を実行します。
  2. 地域の中核病院として地域の皆様の診療、健康保持、健康増進に努めます。
  3. 医療技術と知識の習得に努め良質で高度な医療を提供出来るよう努めます。

# ～倉敷リバーサイド病院、

## 平成16年4月1日に開院1周年を迎え、記念式典が開催されました。

式典では、ご来賓としてJFEスチール株式会社 西日本製鉄所労働人事部長 木下 荘従 様、JFEライフ株式会社 西日本営業本部倉敷営業所長 前田 壽 様をお招きし、また財団法人倉敷中央病院からは大原 謙一郎 理事長、内田 璞 院長、島村 淳之輔 副院長、相田 俊夫 常務理事にご臨席いただきました。

大原 理事長、当院の 楠本 亨 院長よりご挨拶をいただき、木下様よりご祝辞をいただきました。

倉敷リバーサイド病院開院一周年おめでとうございます。

この一年間平らな道ではなかったでしょうが、いくつかの山を越えてきた感じがいたします。地元のために、患者様のために、そして地域全体が健康になるために働くのが川鉄水島病院でしたが、その川鉄水島病院のよき伝統を倉敷リバーサイド病院が見事に受け継いでいると、私は嬉しく思っております。病院の世界が今どんどん変わりつつある中でスタッフ一人一人が担っている使命をしっかりと考え、患者様の居心地のよさへの配慮、心のやさしさのようなものを伝えていける病院を目指してまい進してまいります。

倉敷リバーサイド病院と倉敷中央病院、二つの病院は本当は一つの病院なのです。心を合わせて益々地元の患者様方の回復と地元の住民の皆様の健康のためにスタッフ一同協力をし、新たに心を合わせていく覚悟をしていきたいと思います。



財団法人 倉敷中央病院  
大原 謙一郎 理事長



JFEスチール株式会社  
西日本製鉄所  
木下 荘従 様

倉敷リバーサイド病院開院一周年おめでとうございます、心からお喜びを申し上げます。去年、JFEグループの社員が倉敷リバーサイド病院で健康診断をしていただいた人数、病気を診てもらった人数、倉敷中央病院で病気を診てもらった人数を合わせますと大変な数にのぼります。JFE社員の健康を一手にあずかっているといっていると本当にそう思っております。現在、倉敷中央病院が日本における病院のランクの中で堂々と上位にランクされていることを聞き、そういう意味で倉敷リバーサイド病院が大きななかさの中に入ることが出来たと嬉しく思っております。

JFE社員の健康を預かって頂くと同時にこの地域の医療の一大拠点とすることで、今後の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

### 楠本 亨 院長より ご挨拶

患者様が選んでくれる病院、誇らかに胸を張れる病院、患者様にもそして職員にも愛される病院をつかって行きたいと思っております。一年間どうもありがとうございました。これからよろしくお願い致します。



倉敷中央病院 内田 璞 院長



職員全員で“ガンバロ～”



**決意表明**

「来て良かった。」  
「次も倉敷リバーサイド病院で。」  
と言われる病院になれば良いと願います。  
一周年を期に、職員一同初心に戻り、常に患者様本位の信頼を得られる医療を提供する事を決意表明します。

職員代表 手島 美津子



## Voice 職員の声 その1



昨年4月、倉敷リバーサイド病院がスタートしました。大学の医局の人事の関係で、常勤医二人から一人体制となり、私にとって試練の始まりでした。今までに患者様から得られた信頼を裏切る訳にはいきません。患者様の健康における最大の利益を追求する医療、患者様と同じ目線で接する医療、かかりつけ医そして専門医として幅広く対応する医療の3つの理念を掲げ奮闘してきました。しかし、少しずつ疲労が蓄積してきていたようです。

6月、院長先生の働きかけにより倉敷中央病院からの応援が始まりました。若きエネルギーあふれる先生方による月曜日の午後・夕刻、隔週土曜日の外来診療です。肩の荷が軽くなり、その後は比較的順調に診療に携わることが出来たと思います。

9月中旬、突然体が異変を起こしてきたのです。10月、一ヶ月間病気療養のため診療を離れました。医者になって30年経ちましたが、初めての経験です。寂しく悔しい思いでいっぱいでした。まな板の鯉となり、倉敷中央病院で手術をしていただきました。そして蘇ったのです。入院していた10日間はどっぷりと患者になりきって過ごしました。今まで何の縁もゆかりも無かった私が倉敷中央病院でお世話になっている。病院の合併を考えると何か因縁めいたものを感じ、とても不思議な感覚でした。入院中は主治医の部長先生をはじめスタッフの皆様にも最先端の高度な医療や優しい看護を提供していただきました。また当院からはたくさんの方よりお見舞いや励ましのお言葉をいただき勇気づけられました。この間、岡山大学の医局と倉敷中央病院の先生方の協力で診療をしていただきました。患者様にも職員の皆様にも大変ご迷惑をおかけいたしました。

11月、体力の低下や手術部の傷の痛みなどいくらかの不安がありましたが仕事を再開することが出来ました。患者様にも逆に励まされながらその後、少しずつ順調に体力も仕事も回復してきました。

4月、桜が咲き温かく柔らかな日差しに包まれた春を迎えました。優しい風を肌に感じながら元気に仕事ができることの喜びに浸っています。とは言っても試練は続いています。健康に注意し、色々なことに感謝して自分に与えられた職務を遂行していこうと2年目を迎え心新たにしています。

整形外科 藤原 英一



昨年4月倉敷リバーサイド病院としてスタートしたと同時に倉敷中央病院から移動してまいりました。当初は、周囲の環境に戸惑いもありましたが、私の持ち前の笑顔と元気な挨拶を心

かけ患者さまに接してまいりました。中央受付の顔ぶれも随分、変わり寂しく思われている患者さまもいらっしゃるのではないのでしょうか。どうぞご安心くださいませ。私たちスタッフは、2年目のスタートラインに立ち、新たな気持ちで「明るく、優しい」診療サービスをめざし、より一層患者さまに信頼していただける病院となれるように、心ある対応で患者さまに接してまいりたいと思います。お気づきの点がございましたらお気軽にお声をかけていただければと思います。

診療サービス 中田 恭子



昨年4月からリバーサイド病院で仕事をする事になり、病院名や白衣は変わりましたが、以前と同じ職場同じスタッフと仕事をしているせいでしょうか、何か変わったという感じがしないままスタートした一年でした。

その中で徐々に、長年見慣れた顔が去り、多くの新人の方が入社してこれ、食堂での顔ぶれも変わってきたと感じるこのごろです。

以前と同じ仕事をしていても、回りが変わることで、少しずつ自分も変わってきていると思います。これからもいろいろ変わっていくと思いますが、変わることを恐れずにがんばりたいと思います。



歯科 難波 利浩





薬剤師一同、何か変革をと  
自問自答しながらの1年で  
ありました。事務職員の制服も  
看護師さんの白衣も変わり、  
病院内外各所の改装も倉敷中  
央病院ナイズされ、やっと違

和感なく、受け入れられる今日この頃であります。

患者様は如何ですか？もう慣れましたか？  
私たち薬剤師の白衣は変わってはいませんが中  
身だけは着実に変化していると自負しております  
ので、「お薬」の事ならいつでも、お気軽に声  
を掛けてやって下さい。

薬剤室 平尾 光宏



倉敷リバーサイド病院に  
変わって1年が経ち、倉敷中  
央病院からの患者様やショ  
ートステイの利用者も増え  
てきました。いろんな疾患  
の患者様が来られるように

なり、それぞれの疾患に合った介護やコミュニ  
ケーションの取り方を看護師や補助者の仲間  
に相談しながら頑張っています。この仕事を  
始めて心に残っていることは、言語障害の患  
者様がいて、最初は何を伝えようとしてい  
るのか分からず、患者様も私もイライラした  
時がありました。しかし接していくうちにコ  
ミュニケーションがとれ、言いたい事が  
すぐに分かるようになります。患者様の  
笑顔が見れるようになった事です。これか  
ら患者様やスタッフとのコミュニケーションを  
大切に、私らしく頑張っていこうと思いま  
す。

5階東病棟 井手 祐美



昨年4月に院内が続々と  
リニューアルされ、私も負  
けない様にと気持ちをリニ  
ューアルさせてから早1年が  
経ちました。私が“看護師に  
なりたい”と思ったのはこの

病院の看護師さんがとっても優しくったから  
です。この病院に就職しようと決めたのも、  
包み込む様な雰囲気が好きだからです。この  
2つを続けた病院であることはリニューアルさ  
れないように、これからも患者様の側に立  
った看護師でありたいと思っています。“い  
つも笑顔で”これが私のモットーです。

手術室 手島 美津子



倉敷リバーサイド病院に  
なって早一年が経ちました。  
制服も変わり、新たな気持  
で望んだ一年でした。

この一年で地域の皆様との心の繋がりが  
深まっていれば嬉しいのですが……

今後とも、患者様に喜んで頂ける、質の  
高いリハビリテーションを目指して頑  
張っていきたいと思います。これからも  
宜しくお願いします。

リハビリ 奥山 義浩



倉敷リバーサイド病院と  
して体制が少しずつ変わっ  
て来ているときに、私はこ  
こへ就職し、もうじき1年  
を迎えようとしています。

6月までは産婦人科として分  
娩介助、新生児ケアを、7月からは内  
科・小児科として新しく再スタートし、  
また違った看護が必要とされるよう  
になりました。改めて学ぶことも多  
いですが、患者様により良い看護が  
できるよう頑張っていきたいと思いま  
す。

3階病棟 高嶋 直美





# Dr. だより

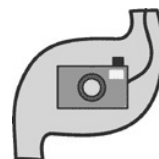
## 胃の手術の話

外科は、手術という治療方法を用いる診療科です。小さな切り傷を縫うような外来でできることから、何時間もかかる手術までいろいろです。

倉敷リバーサイド病院の外科では、外来では擦り傷、切り傷などの治療をし、入院では脱腸(ソケイヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアなど)、胃、腸、胆嚢などの手術や、気胸の手術、乳房の手術、甲状腺の手術などを行っています。また、内科と協力して胃内視鏡、大腸内視鏡の検査もしています。



外科 大倉 充博



今回は胃の手術について少し書いてみます。

手術となる胃の病気は、胃癌がもっとも多く、昔多かった胃潰瘍の手術は少なくなっています。いずれにしても胃を大きく取ると消化吸収の能力が落ちて術後かなり体重が減ります。術後1～2か月で10kgほど減る人もいます。その後徐々に増加しますが、術前の体重の1割減くらいで落ち着く人が多いようです。

### 胃を切った人の食事などで気をつける基本的なことは

1. 食事は1日に5～6回、少量ずつ取る。

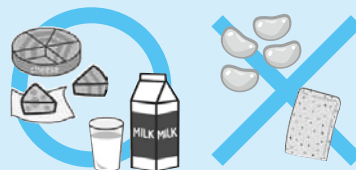


2. 1回の食事は30分以上かけてゆっくりよく噛んで食べる。



3. 乾燥した豆や、昆布、こんにゃくなどは控える。

4. 便秘にならないように水分や乳製品を十分取る。



5. 軽い運動を心がける。



話を胃の手術に戻しますと、たとえば胃癌の手術は、ここ10年くらいで変わってきました。以前はできるだけ大きく取ることによって根治性を求めましたが、最近では術後の食生活の質を求めて、また手術器械の進歩により、癌の広がりに応じたいろいろな方法が考えられるようになりました。早期癌の中には内視鏡を使う手術で取れるものもあります。

開腹手術でも、胃の切除範囲やリンパ郭清の範囲は、癌の進行度によって決まります。また、化学療法をする人しない人いろいろです。

手術などしないで一生過ごせればそれに越したことはないと思います。

無病息災、一病息災、ほどほどに元気でお過ごしください。

# 新 任 Dr. 紹 介

平成16年1月1日付で **馬場先生** (内科) が倉敷リバーサイド病院に着任されました。

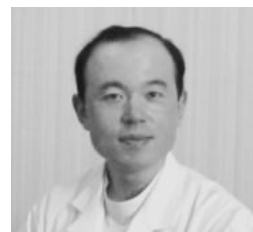
先生のご紹介にいくつかの質問をしました。



ふれあい隊：先生の生まれ育った所は？

馬場先生：香川県丸亀市十番丁です。

ふれあい隊：玉(?)のようなお坊ちゃんとして誕生されたわけですね。



馬場先生

ふれあい隊：馬場先生が医者になろうと思ったきっかけは？

馬場先生：実は6年間程、香川県立(高松西、丸亀)高校で生物・化学を教えていました。丸亀高校は私の母校なんです。高校教師時代は、進路指導担当でもあり、生徒を医学部等へと送り出すうちに、新しい事を始めたくなり、もともと生物、化学に興味があったことで、『自分も医者になろう』と医学部への道を選びました。高校教師時代の教え子と同級生だったこともあるんですよ。



ふれあい隊：ビックリ(笑)



ふれあい隊：好きなスポーツや趣味は？

馬場先生：自然と親しむ事が好きで、山登りでの植物鑑賞、ガーデニング、ドライブ等です。山登りが好きで、医学部学生時代には北アルプスの診療所で、診療班の手伝いをしたこともあるんですよ。

ふれあい隊：倉敷リバーサイド病院での抱負をお聞かせ下さい。

馬場先生：専門としている肝臓、消化器系を中心に、可能な範囲で、生活習慣病やいろいろな病気の患者様の治療にあたりたいと思っています。

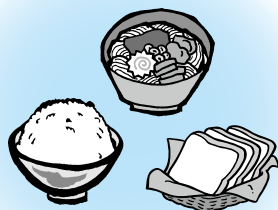
ふれあい隊から一言：とても穏やかで優しい印象の馬場先生でした。ありがとうございました。

## 生活習慣病を予防する食事

### その2 アレコレ組み合わせで！ — バランスよく食べましょう —

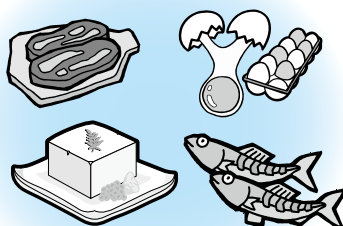
食事療法の話でよく耳にするのが「バランスよく食べる」という言葉。でも、どうやったらバランスよく食べることになるのでしょうか。答えは“偏らない”こと、いろいろな食品をまんべんなく食べるということです。3大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)とビタミン、ミネラルを含む野菜や果物を組み合わせてみましょう。

#### 主 食



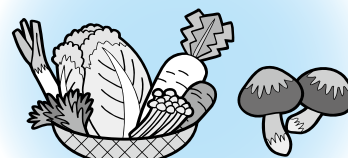
ご飯・パン・麺

#### 主 菜



肉・魚・豆腐・卵

#### 副 菜



野菜・きのこ

“主食抜き”や“野菜を食べない”という食べ方はよくありません。朝はパンだけ、昼は麺類だけ、という方は、おかずや野菜を添えるだけで、バランスがよくなります。少しの工夫で違ってきますよ。

栄養治療室 廣畑 順子



発表風景です

今年の演題は、

1. 看護部教育委員会活動報告：看護部
2. X線撮影室の漏洩線量測定について：放射線
3. 歯科医療面接技法の活用  
ー歯科外来における問診コーナーの導入ー：歯科
4. 経管栄養チューブ使用患者への新しい調剤の検討：薬剤部
5. 小児の感染性胃腸炎について：小児科
6. 記録委員会活動報告：看護部
7. 生化学検査の標準化 ～基準値統一をめざして～：検査  
の7題が発表されました。

## 院内研究発表会が開催されました

毎年恒例の院内研究発表会が1月31日に開催されました。中でも薬剤室からの発表は、看護部にも関連した経管栄養チューブ使用患者様の投薬についてでした。経管栄養チューブ使用患者へ投薬する場合には、錠剤の粉碎などの調剤が不可欠であり、チューブの閉塞、薬剤中止・指示変更時の対応や調剤の手間がかかるなどの問題が生じていました。今回薬剤室では、新しい調剤方法として簡易懸濁法（錠剤のまま調剤し病棟でお湯にて懸濁溶解して投与する。）を検討した結果これらの問題を一気に解決できたとの発表は看護師として随分関心のあるテーマでした。

毎年この会に参加すると、いろいろな発表を聞くことが出来るので大変勉強になります。

手術室 岡本 裕子



## ヤクルトより「愛の車イス」が贈呈されました

1月20日（火）ヤクルト（岡山県西部ヤクルト販売株式会社：倉敷市老松町）より、「愛の車イス」として、立派な車イスが当院に届けられました。これは、岡山ヤクルト販売とヤクルト販売店親交会（婦人販売員）が歳末チャリティセールを行い、その収益金で購入し、岡山県社会福祉協議会を通じて当院に1台配分されたものです。

患者様に少しでも有効に活用していただけたらと、早速、玄関に設置しました。人間愛に溢れた活動に感激しました。このお心づかいを、ぜひとも大切にしていきたいと思います。

管理サービス 東 正樹



ヤクルト号を大切に！



赤おに、青おに、登場



## 鬼は外、福は内

暖かな日差しの中 遅ればせながら豆まきと誕生日会を開きました。多くの拍手の中誕生者へのお祝いの言葉が飛び交っていました。

誕生者の紹介が終わり、ホッとしたかと思いきや、赤おに、青おに登場!!赤おに青おにと共にマラカスやカスタネットなどの楽器を手にみんなで楽しく合唱しました。おにと仲良く合唱したせいか豆まきをしようと思ったら、患者様から『豆を投げるのはかわいそう』と言う声が聞かれ“豆まき”なのに豆はまけませんでした。

患者様の優しさに触れ、楽しくにぎやかな中無事豆まき誕生日会を終える事が出来ました。

5階東病棟 松田 順子



# 外来診療のご案内

(※診療開始：9時)

| 診療科   | 受付時間        | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|-------------|---|---|---|---|---|---|
| 内科    | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 15:30～16:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   | ○ |   | ○ |   |
| 外科    | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 15:30～16:30 | ○ |   | ○ | ○ |   |   |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   | ○ |   |   |   |
| 整形外科  | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 15:30～16:30 | ○ |   | ○ |   |   |   |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   | ○ |   |   |   |
| 小児科   | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 15:30～16:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
|       | 16:30～17:30 | ○ |   | ○ |   | ○ |   |
| 眼科    | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 15:30～16:30 | ○ |   |   | ○ | ○ |   |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   |   |   |   |   |
| 耳鼻咽喉科 | 8:30～11:30  |   |   |   |   |   | ○ |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   |   |   |   |   |
| 歯科    | 8:30～11:30  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
|       | 13:30～16:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |   |
|       | 16:30～18:30 | ○ |   |   |   | ○ |   |



## 編集後記

編集は初めての経験でしたが、皆様に助けていただき無事2年目を迎えることが出来ました。編集にあたって、色々な貴重な体験をさせていただき感謝しております。これからも、読者の皆様に、役立つ記事をお届けできるように頑張っていきたいと思ひます。

放射線検査室 近藤 義昭

プロ野球ペナントレースが開幕しました。今年も美味しくお酒が飲めるでしょうか？

薬剤室 阿河 輝雄

“春”と言えばやはり桜ですね。残念ながら昨年病院内に植えた桜はあまり咲いていないようです。岡山にいながら有名な醍醐桜を(所在地は落合町別所)見たことがない私ですが、その桜に負けないうくらいの桜が咲けばいいなあ……

桜の花言葉は「精神美・優れた美人」。いつか、『あの人は桜のような女ね』と呼ばれたい私です。

臨床検査室 渡部 ゆかり

財団法人 倉敷中央病院  
倉敷リバーサイド病院

〒712-8007

倉敷市鶴の浦2丁目6番11号

TEL 086-448-1111

FAX 086-448-1251

URL <http://www.kchnet.or.jp/krh/>

発行者：楠本 亨

編集責任者：松下 忠史

70900920©